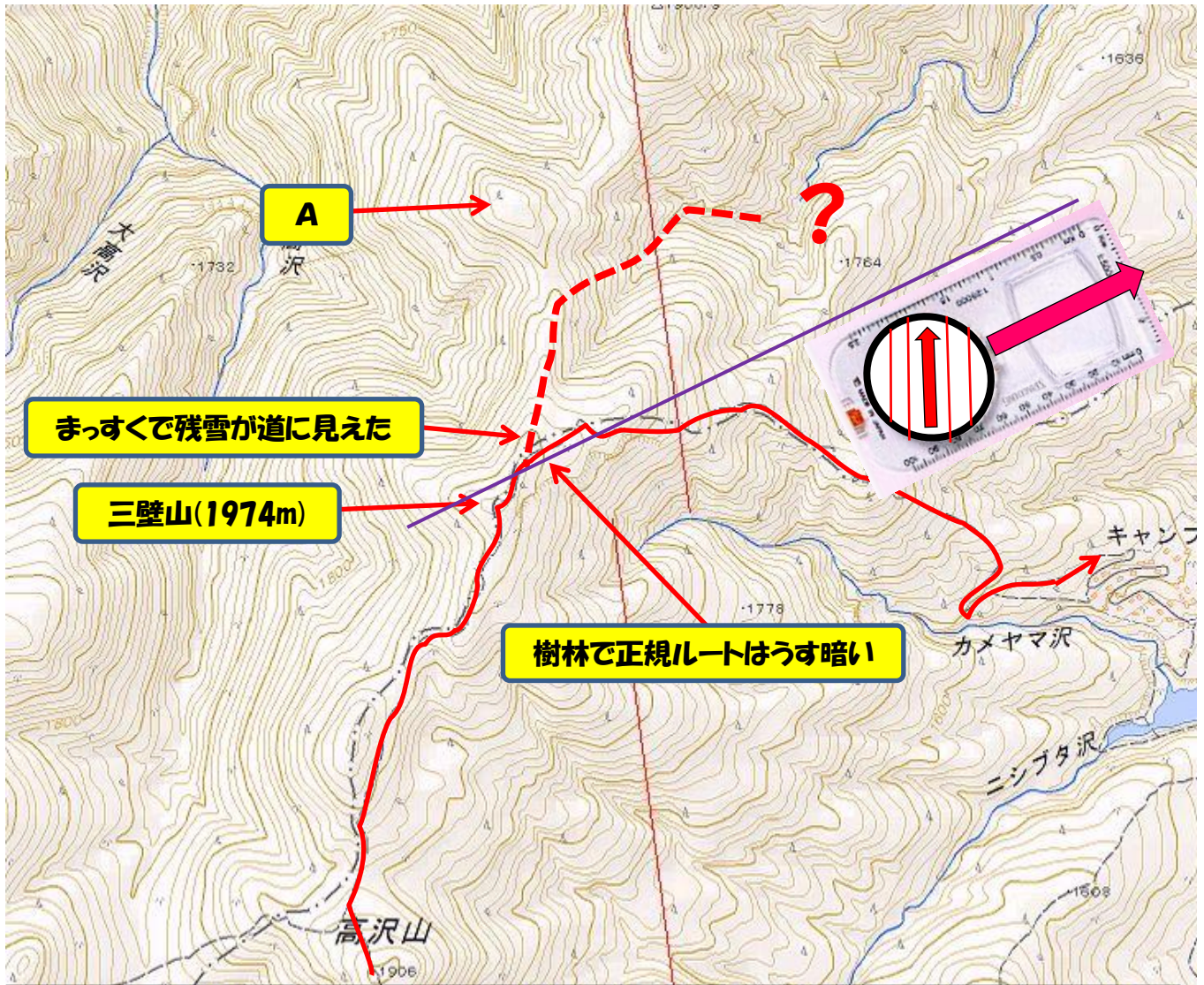


## 高沢山遭難(2003年5月)

群馬県の親子が高沢山からの下山で遭難。4日後に発見された。この年は雪が多く、残雪で倒された笹のため、そちらを道と勘違いしたらしい。正規ルートは樹林で分りづらく、迷いルートは真っ直ぐで視界も良かったのだ。遭難当初は、沢を下りることを目指したが、結局諦めた。もし、沢を下ったら方向が180度違い、長野県の下流まで延々と歩くことになった。



## 解説

高沢山～三壁山～野反湖のルートはハイキングコースになっている。三壁山山頂は標識があり、現在位置が確認できる。では、ここで大切なことは何だろう？道迷いを防ぐ方法は、ルートを「予測」することである。

「予測」とは、

①三壁山から〇〇m進んだら、尾根の分岐がある。(今回は残雪期で登山道は見えていないが、注意しようという意識が大切。)②尾根の分岐で進行方向は、東北東へ変わる。(コンパスで確認をしたい)③もし、尾根分岐を間違えて進んだ場合、尾根から外れなければ、ピークが出てくる。ルート上でピークは「A」のピーク以外に考えられないので、間違ったルートを辿っていることになるので、「戻ろう」

と私は考えたい。特に、③の「もし、〇〇が出てきたら道を間違えている」という予測は、考えられる道迷いを防止する効果があり、実践してもらいたい。

ルートが違ふと思ったら、「戻る勇気が必要ではなく、戻る以外に道はない」と常に考えてほしい。